シミュレーション教育 交流会報告

テーマ:看護過程に活かす シミュレーションのいろは

講師:山内 豊明 教授

日時: 2019年9月16日(月•祝)

参加者:会員33名



〈講義〉

学生は、教員のかがみである。そのため、「守破離の"守"立ち居振る舞いや考え方など、しっかりと教えなければならない。」と、今やっていることの意味を教えて頂き、そして"離 " もできるよう思考過程まで教えなければならないと、推論過程の教育方法をシミュレーションの演習を通して、楽しく学ぶことができました。





我々教員は、運転者では なく、ナビゲーターで す。目的地を明確にし て、それに合った仕込み が大切です。

く演習>



"看護過程に活かすシナリオシミュレーションのいろは" 2019/09/16 実施分

アンケート集計結果

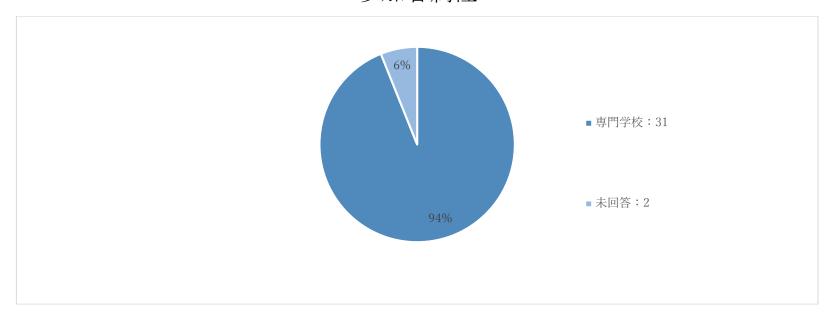
■ 日時:2019/09/16

■ 場所:大阪府看護学校協議会

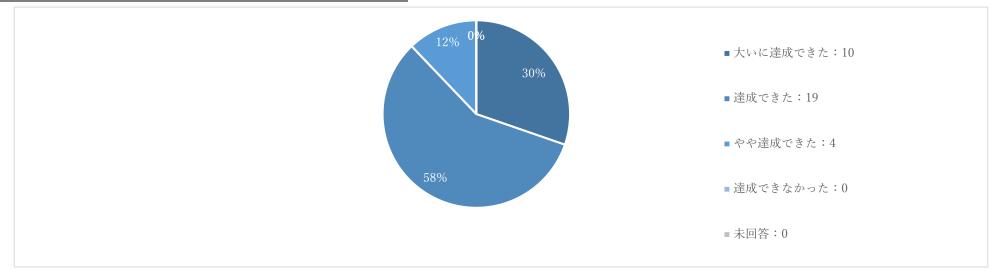
■ 参加者数:33

■ アンケート回答数:33

参加者属性



Q1:今回の講習会の参加目的と、それに対する達成度について



【参加目的・感想を具体的にお聞かせください】

[大いに達成できた]

- シミュレーション教育をやっているが、自分の知識が十分でないため
- シミュレーションをこれまでも行ってきましたが、その時に困ったことなども山内先生の講義や午後のロールプレイで意見交換する中でどうシナリオを作る方が良かったのかなど考えることができました。ロールプレイも行い、とても楽しかったです。学生にもそう学んでほしいな・・と思います。
- シナリオの具体的な使用方法について学べた
- 自校でもシミュレーション学習を取り入れていっているところなので参考にしたいと思います。
- 学生の学習ツールだと思っていましたが、教員としてもどうかかわっていくか考えることができ、とても良い学びの機会となりました。
- シミュレーション教育についての基本、方法を学ぶことができました。実習前の学習に活かしたいと思います。

[達成できた]

- シミュレーション教育を実践するにあたり、目的を明確にする方法を学びたかった
- 学習者の目標や気持ちについて気づいたこともあり、教育者に求められることや何を学んでほしいと思うのかをもう一度考える機会となりました。
- 「看護過程」という言葉がテーマにあるが、実際には出てこなかったため"a 大いに達成できた"にならなかった
- シミュレーションについて学びを深める フィジカルアセスメント・シミュレータにも興味がありました
- シミュレーション教育において、設定と評価、共有の方法が難しいと常々思っておりました。そこにおいて何らかの学習をしたかったので参加いたしまし

た。また良い患者役(シナリオ)について学びたかったのですが、学生では無理だということがわかりました。

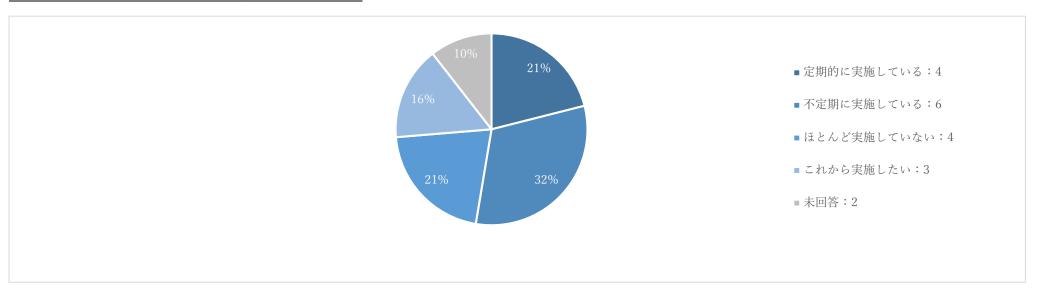
- シミュレーションの基本的な考え方を知り、実際に体験することで学生・教員の役割が分かった。講義で活用できるようにしていきたい。
- 思考過程を学生に教える重要性について考えました。
- 昨年シナリオレンタル開始したのですが、学生への指導ができておらず、講義や演習で取り入れられるようにしたいと思い参加しました。
- 講義に生かすため。具体的にどうしたら良いか課題が見えて良かったです
- シミュレーション教育の目的・具体的展開が良く分かった
- 看護過程において、どのようにシミュレーションを活用したら良いかを学びたいので参加しました。看護過程にどのように活用すれば良いかは今後考えていく必要がありますが、シミュレーションの活用方法、STの気持ちがよく理解できました。ありがとうございました。
- シミュレーション教育について大変勉強になりました。

[やや達成できた]

- 目的を明確にして参加できていませんでした。シナリオシミュレーションがどんなものかについては講習会を通じて理解できました。
- 看護過程やフィジカルアセスメントや実習前指導にとても有効だと感じたが、時間が確保できるかが課題
- 看護教員 1 年目でブリーフィングとは何か?看護教員の役目はどんな役割があるのか学びたいと思い、参加しました。実際にシミュレーション体験をし、 学生の気持ちに気づけた。

[達成できなかった(思っていた内容と異なった)]

Q2:シナリオシミュレーションの実施状況について



【シミュレーション実施の目的/時期/対象者/テーマを具体的にお聞かせください。もしくは実施していない理由をお聞かせください】

[定期的に実施]

- 基礎実習前・統合実習前にシナリオシミュレーションの実施を行っている。
- 3年次医療安全、統合/どれだけ実習をイメージできるか、臨床に近づけられるか
- 2年生/小児 環境整備 10~12月
- 3年次4月、1月
- 卒前、在宅/統合演習、在宅訪問演習

[不定期に実施している]

- 2年生/フィジカルアセスメントの授業で
- 実習ガイダンス・臨巻/臨床がイメージできるため。又、技術を実際の臨床できる能力を身に着けるため
- 1年次/情報収集の場面、9~10月頃
- 2年次/テーマ:訪問看護時の看護師の対応 時期:在宅実習前 目的:学生のレディネスとして患者の生活を捉えることが難しいので体験を通じて経験してもらう
- 1・2・3 年生/各学年の演習に複数回用いています。どのように学んだことをいかすのか、またその共有、具体的なイメージを持たせたい、問題意識をもたせたい などの目的で用いています
- 2年次の小児学
- 1年生/1年生の入学時の演習を考えました。肺炎患者のバイタルサイン・観察で考えました。

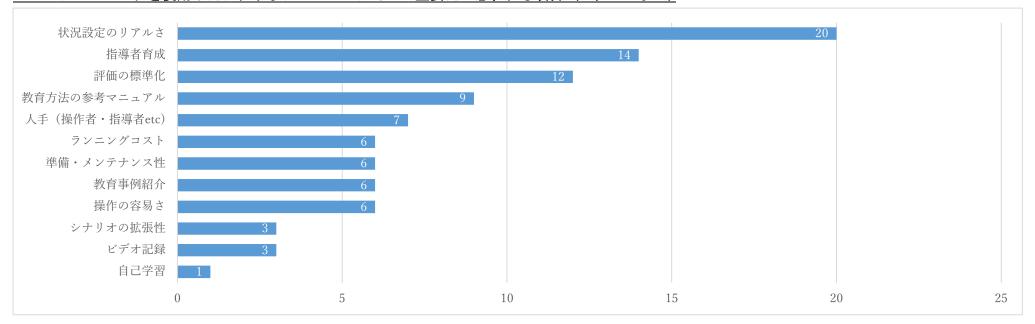
[ほとんど実施していない]

● 1 □

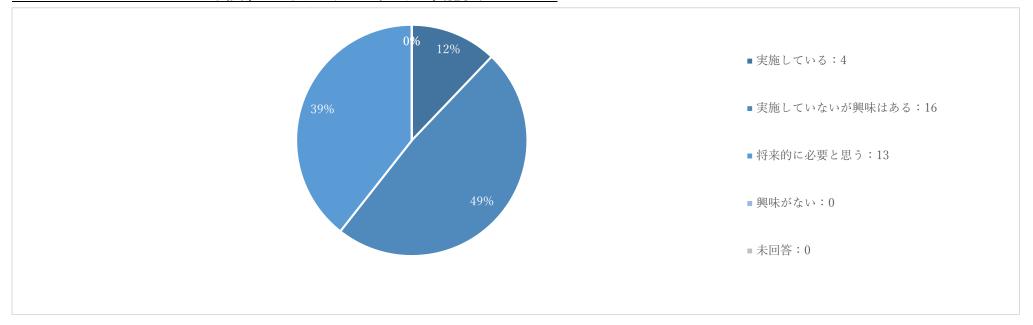
[これから実施したい]

- 使用方法が今ひとつ分からず使用していない。実習前にも活用したい。
- 実習指導教員の為、これまで実施したことがありません。
- 方法がわからなかった
- 新人教員なので今後参考にしたいです
- 各学年、実習前の演習。国家試験前の状況設定問題対策など
- 実習前 授業

Q3:シミュレータを使用したシナリオシミュレーションで重要だと思われる項目(上位3つまで)



Q4:シミュレーションのビデオ記録によるデブリーフィングの実施状況について



[実施している]

- 発達段階、コミュニケーション、危険予測①観察②実施
- 年 1 回のみ (医療安全実習のシミュレーションの時) 行っています。視覚教材で自分を客観的にみることはとても効果的なリフレクションだと思っています。ですが各演習に用いる準備、マンパワーがなかなかうまくいきません。

[実施していないが興味はある]

- そこまでの時間が取れない
- 長い時間していないため、まだ記憶にあると思っているため。しかし学生たちは自分を客観的に見ることができないので必要だと思う
- シミュレーションを行っているがビデオ記録でのデブリーフィングに至っていない
- 個人情報の漏洩

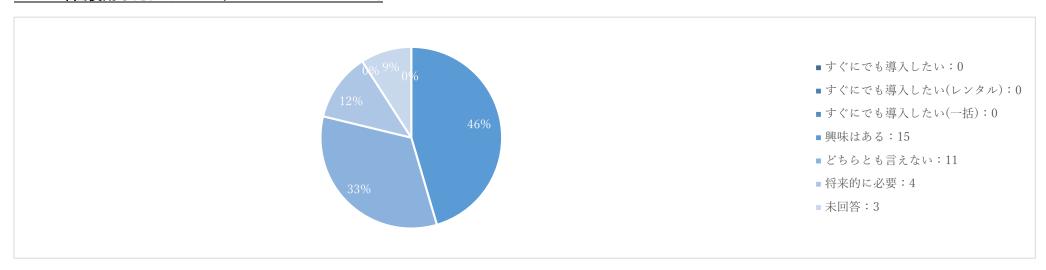
[将来的に必要と思う]

- 授業時間が足りない
- これから頑張ります

[興味がない]

•

Q5: 今回使用したシミュレータ"SCENARIO"について



[すぐにでも導入したい]

[興味はある]

- 学生が対象をイメージできて、実施できた記録がのこるか
- フィジコとシムマンがあるので、さらに購入となると・・
- 学校の予算です

[どちらともいえない]

- 権限がないので
- フィジコもあるが、活用する時間(講義時間等)が限られているため
- 興味はあるが、判断・決定権がない

[将来的に必要]

● レンタルしているので、今後活用していきたい

[未回答]

- 上司が考えておられます
- 学校に確認しないと何とも言えない

Q6: そのほか SCENARIO に関するご要望や、セミナーに対してのご意見など

- 接続の不具合が多いのでしょうか?すごく楽しく学ぶことができました
- まだ教員 1 年目で実際シミュレーションの経験はこれからなので今日山内先生の講義とシミュレーションの実施はとても勉強になりました。ありがとうございました。
- 先生の貴重なお話、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- チームで話しているとき (説明受けているとき) と、全体への伝達が同時に行われている場面があり、聞き取りづらかったです。
- 山内先生のご講義は大変分かりやすかったです。京都科学さんの説明やナビゲーションも良く、とても勉強になりました。
- 先生の講義中に京都科学の方がお弁当の準備や物品の片づけをされており、講義に集中しにくかったです。
- 学生の立場の理解もでき、シナリオシミュレーション教育とは何で、どう具体的に進めるか理解が進みました。
- 事例や状況設定、大変参考になりました
- 学習者と見学の役をしました。教育者側向けに参加していないため、どちらも経験できるように事前に説明が欲しいかなと思いました。
- 実際に体験し、学校でも活かしていきたいです。多くの学びがありました。ありがとうございました。
- 山内先生のお話はいつも素敵です。ありがとうございました。
- 山内先生の講義、とてもわかりやすかったです
- 来てよかったです。ありがとうございました。